

我孫子第三小学校 学校だより

# Sunshine



学校HP <http://ncsv.school-abiko.jp/abk3/htdocs/>

## 学校教育目標

**自ら学び 支え合い  
たくましく生きる子の育成**

令和5年度 12月号

TEL 7184-1171

「子供へのほめ方～あなたがいてくれるだけで嬉しい～」



冬の訪れを感じるこの頃、朝夕と日中の寒暖の差が大きく、体調管理が難しい時期になりました。早いもので今年もあと一か月となりました。先日の音楽フェスタにはたくさんの方々に参観いただき、子供たちにエールをありがとうございました。PTA 役員の方々にも運営にご協力いただきました。心より感謝申し上げます。

さて、「子供はほめて育てるとよい」ということは、すでに通説となっているように思います。ところで皆さんは、お子さんがテストで百点をとって帰ってきたとき、お子さんにどのような言葉をかけますか。たいていは「百点だったの。よくがんばったね。すごい!」というほめ方をすると思います。これは一見、適切なほめ方のように思えますが、その裏には「百点だったから」ほめるという結果主義が見えます。そうやってほめられてきた子は「百点でなければうれしくない」というこだわりが強くなり、そこに至る過程を楽しめなくなる可能性があるということを、以前ある研修会で教わりました。一人一人の子供が同じような努力をしても、全員が同じような結果になるとは限りません。その結果が満足のいくものであってもなくても、そこに至るまでの過程を十分に認め、ほめてあげることが大切です。特に結果が良かった時などは、ついその結果ばかりをほめてしまいがちになりますが、そういう時にこそ、そこに至るまでの過程を認めることを大事にしていきたいです。

子供のほめ方には2種類あるということも、その際に教わりました。一つは、前述したような、子供の行動をほめることです。つまり、子供がやり遂げたこと、努力したことを認めることです。もう一つは、子供の存在そのものをほめることです。これは、特に何かをしなくてもほめられる、文字通り存在するだけでほめられるというものです。どちらもとても大切ですが、ご家庭で特に大切にしていきたいのは後者です。なぜなら、「あなたがいてくれるだけで嬉しい」ということを伝えられるのは、家族の他にあまりいないからです。けれども「存在そのものを認める」ことは、頭の中では思っただけでも、日常ではあまり子供に伝えていないのではないのでしょうか。子供は誰かに「存在そのものを認められている」と思えるだけで、長所も短所も併せもった自分を「価値ある人間だ」という自己肯定感を育てることができます。自己肯定感がもてた子は、他者の違いを理解し、認め、他者を思いやることもできます。

成功や優劣に関係なく、「ただそこにいるだけで十分だ」という温かいメッセージを、私達も三小の子供たちの保護者になったつもりで、これからも大切に伝えていきたいと思っています。終業式には子供たちが通知票を持ち帰ります。子供たちの頑張っている様子をご覧ください。そして、お子さんのほめるところをたくさん見つけて、いつもよりたくさん話をしてみてはいかがでしょうか。

校長



#### 冬場のリップクリームやハンドクリームの扱いについて

乾燥により皮膚に影響がある場合は、連絡帳等で保護者の方から担任に申し出たうえでお子さんに持たせてください。学習の場であること、また、においに敏感なお子さんがいることを踏まえ、学校に持たせるものは無色無臭の物を選んでいただきますようお願いいたします。



#### 朝の通学路の歩き方についてお願い

朝の、通学路の歩き方について保護者の方をお願いです。歩道や道路など、道いっぱい広がっての登校はしないようご家庭でもお話してください。保護者の方と一緒に登校する場合にも他の方が通れるスペースを空けて歩くようご配慮ください。登校時間は、地域の方、保護者の方の通勤通学の時間と重なっています。また、朝の時間にジョギング等趣味を楽しんでおられる方もいらっしゃいます。三小は児童数が多く、物理的に難しい面があるのですが、みんなで少しずつ譲り合う気持ちをもっていくことが大切だと思います。子供たちには学校でも話をしていきます。ご協力をお願いいたします。